

姉妹都市交流コーナー

10月25日・26日の「第30回入間万燈まつり」、11月2日の「第25回国分寺まつり」に佐渡市からも参加しました。

入間万燈まつり

市内全商工会

の青年部員たちが中心となって「佐渡物産通り実行委員会」を組織し、総勢約40名の若者が佐渡物産展を開催して、佐渡の魅力PRに努めました。威勢の良い掛け声と、手際の良い調理により展開される佐渡物産展には、たくさんの人々が訪れ、終了時間前にはすべて完売するほどの盛況ぶりとなりました。また、芸能では「窪田青年団」と「両津民踊研究会」が訪問し、佐渡芸能に精通する入間市の皆さんも目を見張る演技を披露しました。



入間万燈まつりにて熱い炭火の前で奮闘する「佐渡物産通り実行委員会」の皆さん

国分寺まつり

今年

は旧真野町から続く国分寺市との交流が20周年を迎えたことから、特別に記念イベントが設けられました。両市長による交流20周年記念盾の交換や、「おんどこ首都圏会」から鬼太鼓指導を受けた国分

寺市職員6名が鬼太鼓を披露したほか、「小波会」が熟練した民謡と「畑野熊野神社祭典青年鬼組」が勇壮な鬼太鼓舞で観客を魅了しました。

また、物産展では、佐渡沖でとれたばかりの魚介類を求めた人々で、恒例の「活魚コーナー」は大賑わいとなりました。ここでは、毎年8月に遠泳交流のため佐渡を訪れている「国分寺市水泳協会」のボランティアスタッフ約20名が、物産販売に協力してくださりました。



国分寺まつりにて勇壮な舞で観客を魅了する「畑野熊野神社祭典青年鬼組」の皆さん

入間市・国分寺市の両市と佐渡市の交流は、いずれも20年以上の長い歴史を持ち、これまでにたくさんの人々のつながりが生まれてきました。姉妹都市交流の絆は、交流者がつなぐ無数の糸で固く結ばれており、今後もさらに発展していくことでしょう。

佐渡國しま海道 よれっちゃ伝言板

小さな道の駅「寄れっ茶屋」 試行期間終了、年明けから本格実施へ

「旅の途中でちょっと道を尋ねたり、トイレを借りたり…そんな「小さな道の駅」があれば良いのでは…」佐渡國しま海道では本年4月から、小さな道の駅「寄れっ茶屋」事業を行ってきました。試行期間は終了しましたが、年明けからの本格実施を予定しています。市民の皆さまからも「寄れっ茶屋」に関するご意見等お寄せいただければ幸いです。

島内の「寄れっ茶屋」の位置はホームページでご確認いただけます。
<http://www.sado-kaidou.com/>



現地見学会を開催しました

11月9日に佐渡國しま海道の重点ルートである「江戸時代をしのぶ歴史街道・旧中山街道」の現地見学会を行いました。しま海道の会員、一般参加を合わせ20名が参加しました。佐渡國しま海道と同じく、歴史文化の保全に取り組んでいる『「鶴子銀山へ続く道を歩こう」の会』と「佐渡金銀山古道を守る会」の2つの会の協力を得て開かれ、充実した見学会になりました。参加者は旧中山道を歩き、キリタン塚、鶴子銀山遺跡、道遊の割戸などを見学しました。

協力：
佐渡市
教育委員会



お問い合わせ 市役所建設課 ☎63-5118
佐渡國しま海道事務局 ☎57-0118